

2008年(平成20年)

1月7日(月)

第9号

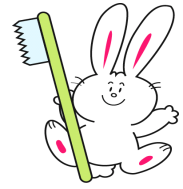
ラビット通信

発行所 ラビット歯科

〒270-2253 千葉県松戸市日暮5-228-2階

電話 047-311-2222 F A X 047-311-2223

URL : <http://www.rabbit.pie.st/>



スタッフ研修の実施



平成十九年十二月二日(日) 医院のスタッフ及び歯科医師を対象に研修を実施しました。今回の研修は「心肺蘇生法とAEDの使用に関する救急法」「患者様への接し方と注意点について」「安全運転について」「高齢者の歯科治療におけるリスク管理」これら4つの題目をメインに行いました。こうして考えてみると、私たちが行っている(訪問) 歯科診療は日々危険と隣り合わせの仕事であることを改めて実感しました。毎日運転をしているので交通事故にいつ遭遇するかわかりません。治療中に患者様の容態が急変し呼吸困難になる可能性もあれば、心

停止になることがあるかもしれません。投薬や処方、麻酔の種類・分量等の間違いによって医
れらは介護や医療に携わる方全員にいえること
ではあります。大事なものはこういった状況
の中に自分が置かれているということを常に
意識することだと思えます。そのために当院で
は定期的に研修を行っています。

『心配蘇生法とAEDの使用に関する救急
法』では日本赤十字社の指導員二人に三時間み
つちりと指導していただきました。全体の手順
人工呼吸・心臓マッサージの方法、AEDの
使用方法、それぞれの注意点を教わり、この作
業をひたすら繰り返し行いました。さすがに指
導員の方は教えるのも慣れており限られた時
間で必要なことをしっかりと教えてください
ました。時間の経過と共に歯科医含むスタッフ
一人一人がどんどん上達していくのが見て取
れました。

『高齢者の歯科治療におけるリスク管理』では、
東京医科歯科大学大学院医師学総合研究科助
教授の大渡凡人(おおわたり つねと) 先生に
来ていただき、歯科医師のみを対象とした講義
と、歯科医師・スタッフ両方を対象にした講義
をそれぞれ行っていました。

高齢者の歯科治療は一歩間違えると全身(内科
的)に影響を与え最悪の場合死につながるケー
スもあります。安全な歯科治療を実現するため
に、内科的な緊急事態を避ける方法、発生した
場合の対応について先生自身の実体験を交え



ながら教えていた
できました。質疑
応答では、当院の
何名かの先生から
現在かかえている
患者様のことを相
談させていただき、
その場で大渡先生
より実践的なアド
バイスがいただけ
たのでとてもため
になりました。今

後も行っていきたいと思えます。

ペット紹介のコナー



コディネター
ーの小山内君が
飼っているチワ
ワのコウちゃん
(六ヶ月・雄)
です。コウちゃ
んの癖はお腹を
出して仰向けの
ままで寝る事
です。一人暮らし
の小山内君はと
ても癒されると
のことです。

